

今後の調査研究について

多チャンネル放送研究所

多チャンネル放送研究所では、多チャンネル放送の振興・普及を目標に、様々な研究事業を実施しております。中でも、多チャンネル放送市場の環境把握の資するために、多チャンネル放送に関連した統計的なデータ整備とその提供に力点を置いて、活動を展開しています。

2010年はずでに以下の調査を実施しました。調査結果は分析が終了次第、逐次公開する予定です。今後にご期待ください。よろしく申し上げます。

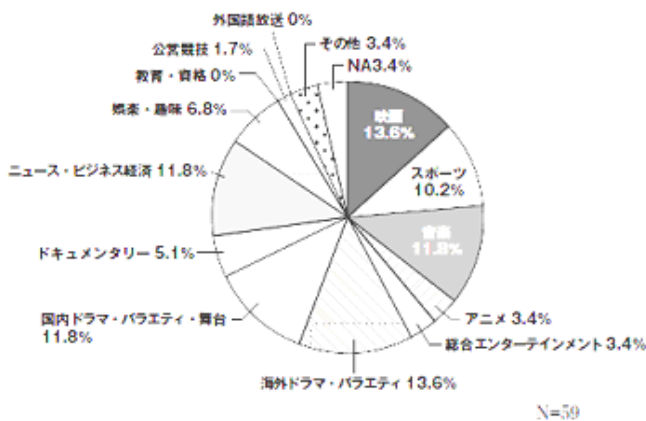
*【すでに実査が終了した多チャンネル放送研究所の調査研究】

1. 2010年多チャンネル放送実態調査

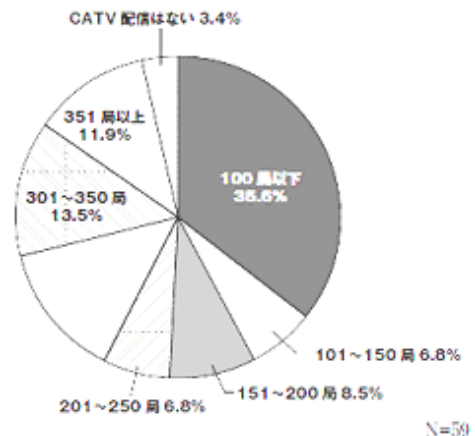
本調査は多チャンネル放送事業を実施している各チャンネルを対象にした事業者調査です。昨年実施した「2009年多チャンネル放送実態調査」に引き続き、多チャンネル放送の産業面での実態を統計的な手法で把握しようとするものです。

- a. 調査時期 2010年4月から5月
- b. 調査対象 衛星放送協会正会員社のCS有料チャンネル(97チャンネル)
- c. 調査方法 郵送法
- d. 回答回収数 59チャンネル
- f. 回答回収率 60.1%

調査対象番組ジャンル別内訳



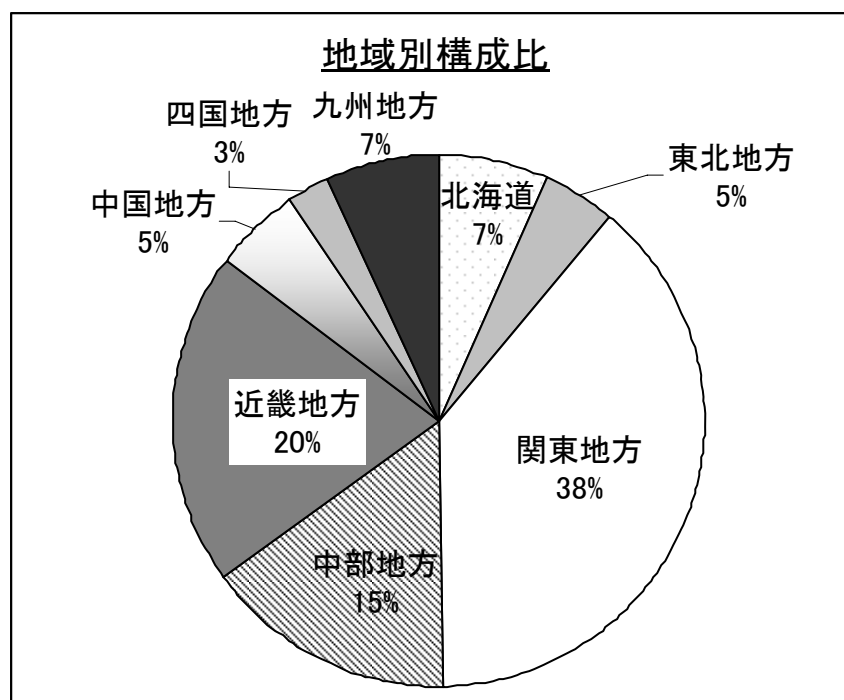
調査対象CATV配信局数別内訳



2. 2010年多チャンネル放送視聴者調査

本調査は、視聴者が多チャンネル放送やその他の放送をどのように視聴し、受けとめているのか、その実態を把握する目的で実施しました。全国が多チャンネル放送の視聴者と非視聴者それぞれを対象に、年齢や性別、収入などの基本的な属性項目、視聴の動機や状況などを調査。視聴者行動を立体的に分析できるようにデザインしています。

- a. 調査時期 2010年5月
- b. 調査対象 多チャンネル放送視聴者および非視聴者約4000人
- c. 調査方法 インターネットのWEBサイトを通じた自記式



以上